

政策 03 安全・安心に暮らせるまちづくり

施策 02 くらしの安全対策



あるべき姿

犯罪や交通事故が減少し、市民が安心して暮らせます。

施策の成果状況と評価

指標	1,000人あたりの犯罪発生件数（件）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	5.96		対前年度	
指標の動き	R04実績	4.06		（向上）	分析 評価 令和4年度より犯罪件数は増加してしまっていますが、防犯カメラや防犯灯の設置、青色回転灯装備車両及び地域防犯パトロールグループによるパトロール等の防犯活動の成果、住宅等防犯対策補助金の実施により、犯罪の発生が抑止されているものと考えます。
	R05実績	5.19		（低下）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（達成）	
	R08実績				
	R08目標値	5.90			

指標	1,000人あたりの交通事故件数（件）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	2.36		対前年度	
指標の動き	R04実績	1.73		（向上）	分析 評価 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行され、行動制限が解除されたことにより、移動の機会が増え、交通事故発生件数が増加したものと考えます。
	R05実績	2.04		（低下）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（達成）	
	R08実績				
	R08目標値	2.36			

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全対策の推進

指標	市民が第1当事者となった事故件数（件）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	148		対前年度	
指標の動き	R04実績	104		（向上）	分析 評価 新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行され、行動制限が解除されたことにより、移動の機会が増え、交通事故発生件数が増加したものと考えます。
	R05実績	124		（低下）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（達成）	
	R08実績				
	R08目標値	140			

基本事業01 交通安全対策の推進

指標	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設の新設・修繕の対応率（％）		【道路課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	92.7		対前年度	
指標の動き	R04実績	100		（向上）	分析 評価 カーブミラーの設置・修繕に伴う要望が増加したことが考えられます。
	R05実績	93.5		（低下）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（中）	
	R08実績				
	R08目標値	94.3			

基本事業02 防犯対策の推進

指標	防犯対策の平均実践項目数（全8項目）（個）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	1.93		対前年度	
指標の動き	R04実績	2.20		（向上）	分析 評価 広報紙や市ホームページ等による情報発信や防犯啓発活動等の実施、防犯パトロールグループによるパトロール、住宅等防犯対策補助金の実施により、市民一人ひとりの防犯に対する意識の向上が図られたものと考えます。
	R05実績	2.24		（向上）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（高）	
	R08実績				
	R08目標値	2.50			

基本事業02 防犯対策の推進

指標	地域防犯組織数（団体）		【自治振興課】	対基準値	指標値の注釈
	後期基準値	130		対前年度	
指標の動き	R04実績	120		（低下）	分析 評価 団体のメンバーの高齢化により、活動の継続が困難になったことが考えられます。
	R05実績	117		（低下）	
	R06実績			目標達成度	
	R07実績			（低）	
	R08実績				
	R08目標値	133			

基本事業03 賢い消費者づくり

指標	消費トラブルを防ぐ方策を知っている市民の割合（％）		【やさしさ支援課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	90.7		対前年度	分析 評価 消費者トラブルが複雑で多様化していることから、市民はどのようにトラブルを防いだら良いのかわからなくなっていることが原因として考えられます。
	R04実績	90.5		☂ (低下)	
	R05実績	89.5		☂ (低下)	
	R06実績			目 標 達成度	
	R07実績			■ ■ ■	
	R08実績			(低)	
	R08目標値	92.0			

基本事業03 賢い消費者づくり

指標	消費生活相談件数（件）		【やさしさ支援課】	対基準値	指標値の注釈
				☀ (向上)	
指標の動き	後期基準値	443		対前年度	分析 評価 デジタル化の急速な進展等により社会環境が大きく変化する中で、消費者トラブルが複雑で多様化していることから、自らのトラブルを消費生活センターで解決できることを知らないために、消費生活相談を利用する市民が減少したと考えられます。
	R04実績	498		☂ (低下)	
	R05実績	444		目 標 達成度	
	R06実績			■ ■ ■	
	R07実績			(中)	
	R08実績				
	R08目標値	461			

基本事業04 登下校の安全確保

指標	登下校での被害件数 （犯罪に巻き込まれた件数及び交通事故にあった件数）（件）		【学校支援課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	0		対前年度	分析 評価 各小中学校で児童生徒が交通事故や犯罪被害にあわないよう、様々な機会を捉え、安全防犯意識を醸成する指導及び訓練等を行っています。また、登下校時には、スクールガード・リーダーや安全ボランティアの方による見守り活動を実施するなど、児童生徒の安全確保に努めています。
	R04実績	4		☂ (低下)	
	R05実績	7		目 標 達成度	
	R06実績			■ ■ ■	
	R07実績			(低)	
	R08実績				
	R08目標値	0			

基本事業04 登下校の安全確保

指標	通学路等における安全対策実施箇所に対する整備割合（％）		【道路課】	対基準値	指標値の注釈
				☂ (低下)	
指標の動き	後期基準値	100		対前年度	分析 評価 第5期通学路整備計画(R4～R8)に基づき順調に整備が進捗していると考えられます。
	R04実績	78.7		☀ (向上)	
	R05実績	92.2		目 標 達成度	
	R06実績			■ ■ ■	
	R07実績			(高)	
	R08実績				
	R08目標値	100			